

健康安全・兵庫

不安全行動をなくそう！

安全大会から早2ヶ月。自転車をこぎ続けるとライトが消えてしまうように、いかに立派な安全大会を実施しても、日々の安全活動を継続しなければ「安全」の火もすぐに消えてしまうこととなります。

◆5月から7月の国有林野事業全体の災害11件のうち、4件は鉋使用時に起きた、手・足を切創するという災害。何も自分で自分の手・足を伐らなくても思いたくもなりません。また、3件は移動中に窪地等に足をとられて靭帯損傷等の災害です。

① 法面にはみ出た枝条を、鉋で処理中、勢いがあまり右膝をを切ってしまった。(右膝切創)

② 林道に被る灌木を処理するため切断しようとして鉋を振り下ろした際、先に切断した灌木の切り株に左手小指を打ちつけた(小指亀裂骨折)。

③ 作業の支障になる灌木を鉋で切り、鉋を鞘に戻そうとしたとき、左手が鉋の刃に触れ親指を切った(左手親指切創)。

④ 林内を移動時に支障となる灌木2本を一度に切断しようとして左手で鉋を振りかざした際、勢いあまって右膝上に鉋刃が当たった(右膝切創)。

⑤ 歩行中、地面に倒伏しているスギをまたいだ際、左ふくらはぎ痛めた(左下腿肉離れ)。

⑥ 境界標探索中、猪穴に左足を引っ掛け左ひざを捻った(内側側副靭帯損傷)。
⑦ 林内移動中、蛇を発見し、後ろずさりしたところ窪地に左足をとられ、左ふくらはぎを痛めた(左下腿腓腹筋挫傷)。

◆何れもちよつとした不注意、確認不足、気の緩み等で災害が発生していると考えられます。これまで発生している災害原因の大半は人間にあり、不安全行動とヒューマンエラーによるものと考えられます。

◆安全とは、災害を起こさないということだけでなく、災害につながる「危険の芽」を無くすことです。その基本は、作業する一人ひとりが「ケガをしてはつまらない・痛い」「災害を起こしたら大変だ」、そして「かけがえのない命を大切にしよう」という気持ちをしつかりもつことにあります。そのために「決められたこと・決めたこと(ルール)を守る」と、お互いに助け合い声を掛けること」が大切です。

◆危険の基をなくすために一番効果的な対策は、その日起こったヒヤリハットを徹底的に潰すことです。ヒヤリハットは、危険状態、危険の源そのものであり、これらを無くすことが災害を防ぐことに直結しています。

◆職員の皆さんは、これらの小事を見逃さないことが先ず安全の第一歩であることを肝に銘じて、山には常に危険が潜んでいるといつも心の中で思いながら作業を行うことが大切です。



秋の全国交通安全運動

■実施期間：平成26年9月21日(日)～30日(火)までの10日間

運動初日：「交通安全意識を高める日」

9月30日：「交通事故死ゼロを目指す日」

■運動の基本：子どもと高齢者の交通事故防止

■運動の重点

- 1 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止(特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)
- 2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシート正しい着用の徹底
- 3 飲酒運転の根絶
- 4 「通勤時の交通事故防止」
「いつもの道も初めて走るつもり運転」

■法定速度を遵守し、スピードを控え、防衛運転に徹して、交通事故を未然に防止していきましよう。



この花なあに！

発行 兵庫森林管理署 健康安全協議会

「こまめな水分補給や健康管理で熱中症の予防に努めよう！」